

● 約数・倍数 1 ●

□(1) 36 の約数は全部で 個あります。

A. _____

□(2) 2010 の約数は全部で 個です。

A. _____

□(3) 1 から 20 までの整数の中で、約数を 4 つだけもつ数は 個あります。

A. _____

□(4) 64 のすべての約数の和は です。

A. _____

□(5) 126 と 315 の公約数の中で 2 番目に大きい数は です。

A. _____

□(6) 2 けたの 9 の倍数全部の和は です。

A. _____

□(7) 8 分おき, 12 分おき, 18 分おきに発車する 3 台のバスがあります。午前 8 時に 3 台のバスが同時に発車しました。この次に 3 台のバスが同時に発車するのは 時 分です。

A. _____

□(8) 2 けたの整数が 2 つあり, 最大公約数が 8 で, 積が 1536 になります。この 2 つの整数は と です。

A. _____

□(9) 縦 12 cm, 横 30 cm の長方形の紙を, すきまなく並べて正方形をつくる時, 1 番小さい正方形の辺の長さは cm です。

A. _____

□(10) たて 26m, 横 65m の長方形の土地の周りに同じ間かくで木を植えます。木の本数を最も少なくするには, 間かくを m にすればよいです。ただし, 長方形の 4 つの角には必ず木を植えることにします。

A. _____

● 数の性質 1 ●

□(1) 100 から 1000 までの整数のうち、4 または 5 で割り切れる整数は 個あります。

A. _____

□(2) 1 から 100 までの整数の中に、3 でも割り切れ、7 でも割り切れる整数は 個あります。

A. _____

□(3) 4 で割っても、7 で割っても 2 余る 3 けたの整数は 個あります。

A. _____

□(4) 3 で割ると 2 余り、4 で割ると 1 余る 2 けたの整数で、最大の整数は です。

A. _____

□(5) 100 から 2010 までの整数で、2 でも 3 でも割り切れるが、5 で割り切れない数は 個あります。

A. _____

□(6) 1 から 100 までの整数の中で、6 の倍数を全部足すと です。

A. _____

□(7) 5 で割ると 3 余り、6 で割ると 1 余り、7 で割ると 1 余る整数の中で、2000 に最も近い整数は です。

A. _____

□(8) 7 で割ると 4 余り、13 で割ると 10 余るもっとも小さい整数は です。

A. _____

□(9) 11 で割ると 9 余り、12 で割ると 10 余る数のうち、一番小さいのは です。

A. _____

□(10) 7 で割ると 5 余り、5 で割ると 3 余る整数で、200 にもっとも近い数は です。

A. _____

● 整数に関するいろいろな問題 1 ●

□(1) 連続した 25 個の整数があり、そのうち偶数だけの和から奇数だけの和を引くと 44 になりました。この 25 個の整数の和は です。

A. _____

□(2) 十の位を四捨五入すると 8500 になる整数は全部で 個です。

A. _____

□(3) 7 の倍数である整数 A を 58 で割って、小数第 2 位を四捨五入すると、6.4 になりました。整数 A は です。

A. _____

□(4) 大小 2 つの数があります。大きい方の数に小さい方の数を 2 倍して加えると 50 になり、大きい方の数を 2 倍して小さい方の数に加えると 58 になります。大きい方の数は です。

A. _____

□(5) 3 つの整数があり、そのうち 1 つは偶数で他の 2 つは奇数です。これらの 2 つずつの和を作ったら、61, 83, 96 となります。このとき、はじめの 3 つの整数の中で偶数のものは です。

A. _____

□(6) 7 で割ったときに、商と余りが等しくなるような整数のうち、最も大きいものは です。

A. _____

□(7) ある整数を 43 で割って、小数第二位を四捨五入したら 8.3 になりました。このような整数のうち一番大きい整数は です。

A. _____

● 速さの3用法 1 ●

□(1) 分速 600m は時速 km です。

A. _____

□(2) 秒速 3m で 1 時間 30 分動くと km 進みます。

A. _____

□(3) 時速 6 km で 2 時間 18 分歩くと km 歩いたことになります。

A. _____

□(4) 12 km の道のりを秒速 5m で進むと 分かかります。

A. _____

□(5) 時速 4 km の速さで 45 分かかった道のりを、分速 125m の速さで走ったときにかかる時間は 分です。

A. _____

□(6) 時速 80 km で走る車が 500 km 進むには 時間 分かかります。

A. _____

□(7) 秒速 10 km のロケットが 20 秒で進む距離を、時速 240 km の新幹線は 分で進みます。

A. _____

□(8) 時速 72 km で走る車で 2 時間 20 分かかる道のりを分速 1.6 km の速さで走る車で移動すると 時間 分かかります。

A. _____

● 平均の速さ ●

□(1) 12 kmの山道を往復するのに、上りは4時間、下りは2時間かかったとすると、平均の速さは時速 km になります。

A. _____

□(2) ある道のりの $\frac{1}{3}$ を毎時 60 km で走り、残りの道のりを毎時 40 km で走ったときの平均の速さは、毎時 km です。

A. _____

□(3) A 町から B 町へ行くのに、時速 24 km、時速 8 km、時速 12 km で同じ距離ずつ走りました。平均の速さは時速 km になります。

A. _____

□(4) 片道 8 km の道のりを歩いて往復します。行きは時速 4 km で、帰りは時速 3 km で歩くとき、往復の平均時速は km です。

A. _____

□(5) 片道 2.4 km の道を、行きは時速 6 km、帰りは時速 km の速さで往復しました。このとき、往復の平均の速さは時速 4.8 km です。

A. _____

● 速さの応用 1 ●

- (1) 弟と兄は8時に家を出発し、学校へ向かいました。弟は分速120mで走り、8時20分に到着しました。兄は自転車で行き、8時6分に到着しました。兄の自転車の速さは時速 \square kmです。

A. _____

- (2) 太郎君は、A地点からB地点までの10kmのハイキングコースを、午前11時30分に出発し、はじめの3kmは時速4.5kmで歩き、10分間休んだ後、残りを時速3.5kmで歩きました。B地点に着いたのは、午後 \square 時 \square 分です。

A. _____

- (3) $\frac{1}{25000}$ の縮図を2.5倍に拡大して2cmになる道のりを4分で歩きました。このときの速さは毎時 \square kmです。

A. _____

- (4) ある坂道を、A君は上から下へ、B君は下から上へ、それぞれ一定の速さで走りました。2人は同時に走り始め、36秒後にすれちがいました。A君は坂道をかけおりに60秒かかりました。B君は坂道をかけあがるのに \square 秒かかりました。

A. _____

- (5) 太郎君は家から学校までの0.8kmの距離を歩いて登校しています。毎朝同じ時刻に家を出て、途中で信号が1つあります。止まらずに分速80mの速さで歩くと8時に学校に着きます。昨日も分速80mの速さで歩いていましたが、信号で45秒間止まりました。信号が青に変わったあと分速120mで走ったら8時ちょうどに学校に着きました。信号は家から \square mの距離にあります。

A. _____

● 通過算 1 ●

□(1) 同じ速さで走っている長さ 200mの電車と長さ 160mの電車が、出会ってから離れるまでに 12 秒かかりました。電車の速さは時速 km です。

A. _____

□(2) 長さ 120m, 時速 72 kmの列車が, トンネルを通りぬけるのに 24 秒かかりました。トンネルの長さは m です。

A. _____

□(3) 全長 25mのバスが高速道路で時速 80 kmで走っています。このバスが 3975mのトンネルに入り始めてから完全に出るまでに 分かかります。

A. _____

□(4) ある一定の速さで走っている電車があります。この電車がトンネルを渡り切る時間は、長さ 2350mのトンネル A に対しては 2 分 4 秒、長さ 950mのトンネル B に対しては 54 秒かかりました。この電車の速さは秒速 m です。

A. _____

□(5) 急行列車が、500mの橋を渡り始めてから完全に渡り終わるのに 24 秒かかりました。次に 150mのトンネルに入り始めてから通り抜けるまでに 10 秒かかりました。この急行列車の速さは時速 km です。

A. _____

□(6) 一定の速さで走る長さ mの列車は、ふみきりに立っている A 子さんの前を通り過ぎるのに 15 秒、長さ 180mの鉄橋をわたりきるのに 27 秒かかりました。

A. _____

□(7) 秒速 25m, 長さ 130mの列車 A が、長さ 150mの列車 B に追いつかれてから追いこされるまでに 56 秒かかりました。列車 B の速さは秒速 m です。

A. _____

● 割合と比 1 ●

□(1) 20.5mの□%は9.43mです。

A. _____

□(2) 40人のクラスで、男子が18人です。女子は全体の□%です。

A. _____

□(3) 3000人の15%は10000人の□%です。

A. _____

□(4) AはBの $\frac{4}{3}$ 倍で、BはCの0.4倍のとき、 $A : B : C = \square : \square : \square$ です。

A. _____

□(5) 400ページある小説を1日目に全体の $\frac{1}{4}$ を読み、2日目に残りの $\frac{7}{15}$ を読みました。あと□ページ残っています。

A. _____

□(6) ある36人のクラスで、電車通学の生徒は、電車通学でない生徒の80%います。電車通学の生徒は□人です。

A. _____

□(7) 歯の数が128個と96個の大小2つの歯車がかみ合っています。大きい方が $6\frac{3}{8}$ 回転すると、小さい方は□回転します。

A. _____

□(8) 折り紙を、松子さんは100枚、妹は35枚持っています。松子さんが妹に□枚あげると、二人がもっている折り紙の枚数の比は2:1になります。

A. _____

□(9) $\frac{13}{21}$ の分子と分母に同じ数□を足して約分すると、 $\frac{10}{11}$ になります。

A. _____

□(10) 父と息子の年齢の比は4:1で、この2人の年齢差は24才です。このとき、父の年齢は□才です。

A. _____

● 還元算 1 ●

□(1) ある学校の生徒は18人がメガネをかけていて、これは全校生徒の15%です。このとき全校生徒は□人です。

A. _____

□(2) ある本を全体の $\frac{3}{5}$ より15ページ少なく読んだところ、103ページ残りました。この本は全部で□ページあります。

A. _____

□(3) ある本を1日目は25ページ読み、2日目に残りの4分の1を読み、3日目には残りの4分の1を読んだところ、45ページ残りました。この本は全部で□ページあります。

A. _____

□(4) 家から美術館へ行きます。全体の距離の $\frac{13}{15}$ は電車で、残りの距離の $\frac{9}{11}$ はバスで行き、最後の400mは歩きます。家から美術館までの距離は□kmです。

A. _____

□(5) 聖子さんはおこづかいの $\frac{2}{3}$ で本を買い、残りの $\frac{3}{4}$ でノートを買ったところ、残金が400円になりました。聖子さんがはじめに持っていたおこづかいは□円です。

A. _____

□(6) ある本をきのうは全体の $\frac{2}{5}$ を、今日は残りのページの $\frac{5}{9}$ を読んだところ、残りのページ数は140ページでした。この本は全部で□ページです。

A. _____

□(7) 折り紙が何枚かあります。最初に兄が全体の $\frac{1}{4}$ をとり、次に私が残りの $\frac{2}{5}$ をとったところ、36枚残りました。折り紙は、はじめ□枚ありました。

A. _____

● 食塩水 1 ●

□(1) 480 g の水に, 20 g の食塩を入れて食塩水を作ります。このとき, 食塩水の濃さは % になります。

A. _____

□(2) 3% の食塩水 400 g に 200 g の水を加えると % の食塩水ができます。

A. _____

□(3) 8% の食塩水が 150 g あります。この食塩水に水を 100 g 加えると % の食塩水になります。

A. _____

□(4) 食塩 7 g に水 g を加えると, 5% の食塩水になります。

A. _____

□(5) 5% の食塩水 450 g に 9% の食塩水 150 g を混ぜると, % の食塩水になります。

A. _____

□(6) 15% の食塩水 300 g に 7% の食塩水 200 g を混ぜると % の食塩水ができます。

A. _____

□(7) 4% の食塩水 200 g と 7% の食塩水 100 g を混ぜると, % の食塩水ができます。

A. _____

□(8) 5% の食塩水と 8% の食塩水を 2 : 3 の比で混ぜると, % の食塩水ができます。

A. _____

□(9) 184 g の水に食塩を g 溶かすと, 8% の食塩水になります。

A. _____

● 売買損益 1 ●

□(1) ある品物に原価の3割増しの定価 3250 円をつけました。原価は□□□円です。

A. _____

□(2) 定価 2500 円の品物を 25%引きで買うと□□□円です。

A. _____

□(3) 原価が 1000 円の商品に 3 割の利益を見込んで定価をつけ、5 %の消費税を加えると売値は□□□円です。

A. _____

□(4) 定価 1200 円の品物の 1 割 5 分引きは□□□円です。

A. _____

□(5) 定価 2900 円の商品を□□□%引きで 2117 円で売りました。

A. _____

□(6) 定価 1540 円の 25%引きは□□□円です。

A. _____

□(7) 原価□□□円の品物に 30%の利益を見こんで定価をつけると 78 円の利益があります。

A. _____

□(8) 定価□□□円の品物の 3 割引きは 8400 円です。

A. _____

□(9) 定価□□□円の 2 割 5 分引きは 1500 円です。

A. _____

□(10) ある品物の値段を20%引きし、さらに15%引きすることは、最初の値段から□□□%引きしたことに同じです。

A. _____

● 場合の数 1 ●

□(1) 0, 1, 2, 3 の4枚のカードを並べてできる4けたの数は□通りあります。

A. _____

□(2) 2, 3, 4, 5, 5 の5枚のカードの中から3枚取り出して3けたの数をつくるとき、異なる整数は全部で□個できます。

A. _____

□(3) 1, 1, 2, 3 の4枚のカードを並べかえて4けたの整数をつくります。このとき、4けたの整数は全部で□通りできます。

A. _____

□(4) 0, 1, 3, 5, 9 のカードが1枚ずつ、全部で5枚あります。5枚のカードを並べて5けたの数をつくるとき、できる数は全部で□通りです。

A. _____

□(5) A, B, C, D の4枚のカードを横1列に並べるとき、AのカードがBのカードの左隣にくる並べ方は□通りあります。

A. _____

□(6) 1, 2, 3, 4 の4枚のカードがあります。このうち3枚のカードを並べて3けたの整数をつくるとき、十の位の数字が百の位と一の位の数字よりも小さくなるような整数は、全部で□通りできます。

A. _____

□(7) 0, 1, 2, 3, 4 の数字が書かれたカードが1枚ずつあります。241 や 130 のように、この5枚のカードのうち3枚のカードを使って3けたの整数をつくります。このような整数のうち、偶数は□通りつくることができます。

A. _____

□(8) 0, 1, 2, 3, 4 の5枚のカードの中から3枚を取り出して、3けたの整数をつくります。321 より小さい整数は□通りできます。

A. _____

□(9) 1 から 4 の数字がひとつずつ書いてある4枚のカードがあります。このカードを3枚並べて3けたの整数をつくるとき、231 より大きい数は□個できます。

A. _____

● 規則性 1 ●

□(1) $2010 \div 22$ の計算を小数点以下も続けて行うとき、商の小数第 9 位の数は です。

A. _____

□(2) $\frac{32}{101}$ を小数になおしたとき、小数第 10 位の数字は です。

A. _____

□(3) $\frac{1}{7}$ を小数で表すと、小数第 50 位の数は です。

A. _____

□(4) $\frac{5}{13}$ を小数で表したとき、小数第 2000 位の数は です。

A. _____

□(5) $\frac{7}{27}$ を小数で表したとき、小数第 30 位の数字は です。

A. _____

□(6) $60 \div 7$ を計算したとき、小数第 20 位の数字は です。

A. _____

□(7) $\frac{5}{37}$ を小数で表すと、小数第 50 位の数は になります。

A. _____

□(8) ある規則にしたがって数がならんでいます。15 番目の数は です。

1, 2, 2, 4, 3, 6, 4, ……

A. _____

□(9) あるきまりにしたがって、1, 4, 9, 16, 25, ……と数が並んでいます。484 は 番目の数です。

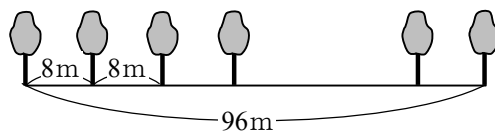
A. _____

□(10) 1, 1, 2, 1, 2, 3, 1, 2, 3, 4, 1, 2, ……の数列で 5 回目に現れる数字 3 は最初の 1 から数えて 番目です。

A. _____

● 植木算 1 ●

□(1) 右の図のように、96mの道に8m間隔で□本の木を植えました。



A. _____

□(2) 円形の池の周りに1周200mの道があります。そこに2mの間隔で木を植えていくと□本の木が必要です。

A. _____

□(3) 幅1cm、長さ30cmの紙を25枚はりあわせました。のりしろを2cmずつとると□cmの長さになります。

A. _____

□(4) 長さ15cmの紙テープ19枚をのりでつなぎ、全体の長さを240cmにします。つなぎ目ののりしろをすべて同じ長さにする、のりしろ1カ所の長さは□cmです。

A. _____

□(5) 林太郎君は竹を5本に切り分けるのに22分かかります。林太郎君が同じ太さの竹を11本に切り分けるには□分かかります。

A. _____

□(6) 3辺の長さが150m、200m、250mの三角形の土地があります。この土地の周囲に等しい間かくで木を植えます。三角形の3つの頂点には、必ず木を植えます。5m間かくで植えると全部で□本必要になります。

A. _____

● 平均算 1 ●

□(1) あるテストで A 君と B 君の得点の平均は 70 点で、A 君の得点は B 君の得点より 26 点高いです。A 君の得点は 点です。

A. _____

□(2) ある生徒の 7 科目の平均点は 72 点でした。そのうちの 4 科目の平均点が 75 点のとき、残り 3 科目の平均点は 点です。

A. _____

□(3) あるクラスの 5 人の身長平均は 148.0 cm でした。新たにもう一人を加えて、6 人の身長平均を求めると 147.0 cm になりました。新たに加わった人の身長は cm です。

A. _____

□(4) 算数のテストを 5 回受けて平均点が 点でしたが、今回のテストで 100 点をとったので、平均点が 80 点になりました。

A. _____

□(5) A, B, C, D の 4 人の体重について、A, B, C の 3 人の平均は 45 kg, A, C, D の 3 人の平均は 48 kg, B, D の 2 人の平均は 43.5 kg で、A は C より 12 kg 重いとします。このとき、A は kg, B は kg です。

A. _____

□(6) 3 つの数 A, B, C があります。A と B の平均が 14, 3 つの数の平均が 17 のとき、C の数は です。

A. _____

□(7) 花子さんは、1 回目のテストが 73 点、2 回目は 68 点でしたが、3 回目がよかったので、3 回のテストの平均が 80 点になりました。3 回目のテストは 点でした。

A. _____

□(8) A, B, C, D の 4 人が算数のテストを受けました。A と B 2 人の平均点は 82 点、A, B, C 3 人の平均点は 77 点、C と D 2 人の平均点が 63 点でした。D の得点は 点です。

A. _____

● 差集め算 1 ●

□(1) 何冊かのノートを子どもたちに配ります。1人に4冊ずつ配ると2冊あまり、1人に5冊ずつ配ると10冊不足します。このとき、子どもの人数は□人です。

A. _____

□(2) みかんを子どもたちに配るのに、1人に3個ずつ配ると22個余り、4個ずつ配ると14個足りません。みかんは全部で□個あります。

A. _____

□(3) 袋の中にあめが何個かあります。そのあめを何人かの子どもに配るのに、3個ずつ配ると10個余り、5個ずつ配ると16個足りません。あめは□個あります。

A. _____

□(4) ある区間の端から端まで等間隔に杭を立てます。40 cmの間隔で杭を立てると、50 cmの間隔で杭を立てたときよりも60本多く杭が必要になります。この区間の長さは□mです。

A. _____

□(5) りんごを8個買おうとすると200円足りませんが、6個買おうとすると100円余ります。りんご1個の値段は□円です。

A. _____

□(6) 生徒が長いす1脚に4人ずつ座ると20人座れず、5人ずつ座ると長いすがちょうど1脚余ります。生徒は□人います。

A. _____

□(7) 6本入りの鉛筆を何箱か用意をし、クラスの生徒に配ります。1人に3本ずつ配ると15本余り、1人に4本ずつ配るとちょうど4箱足りません。クラスの生徒は□人です。

A. _____

□(8) アメを7個ずつ配ると43個余り、10個ずつ配ると最後の人が完全に渡すことができませんでした。アメの個数が奇数のとき、アメの個数は、□個です。

A. _____

● 年令算 1 ●

□(1) 現在, 子どもの年令は 12 才で, 父は 38 才です。子どもと父の年令の比が 3:5 になるのは, 今から 年後です。

A. _____

□(2) 現在の父の年令が 43 才, 子どもの年令が 7 才である時, 年後には父の年令は子どもの年令の 3 倍になります。

A. _____

□(3) 現在, 父と息子の年令の合計は 50 才です。17 年後に父の年令が息子の年令の 2 倍になるとすると, 現在の息子の年令は 才です。

A. _____

□(4) 今年, 母の年令は子の年令の 3 倍である。10 年前, 母の年令は子の年令の 8 倍であった。今年の母の年令は 才です。

A. _____

□(5) 3 人家族で, お父さんの年令は子どもの年令の 3 倍, お父さんとお母さんの年令の和は 81 才, お母さんと子どもの年令の和は 53 才です。このとき, 子どもの年令は 才です。

A. _____

□(6) 花子さんとお母さんの年令の比は, 今から 4 年前には 1:4 でした。今の 2 人の年令の和は 68 才です。今, 花さんは 才です。

A. _____

□(7) 現在, 一郎君とお父さんの年令の和は 42 才です。9 年後には, 一郎君の年令はお父さんの年令の $\frac{1}{3}$ になります。一郎君がお父さんの年令の $\frac{1}{2}$ になるのは 年後です。

A. _____

□(8) 現在, 父親と娘の年令の差は娘の年令の 5 倍あります。今から 9 年後には, 父親の年令は娘の年令の 3 倍になります。現在, 父親の年令は 才です。

A. _____

□(9) 現在, 姉と妹と二人のお母さんの年令の合計は 55 才です。今から 5 年前には, お母さんの年令は, 姉と妹の年令の合計の 4 倍でした。現在のお母さんの年令は 才です。

A. _____

● 仕事算 1 ●

□(1) ある仕事をするのに、姉 1 人では 24 分、妹 1 人では 40 分かかります。この仕事を 2 人で一緒にすると、分で終わります。

A. _____

□(2) 英和くんだけでは 30 日、成美さんだけでは 45 日かかる仕事があります。この仕事を成美さんから始めて 1 日ずつ交代でやると、日で終わります。

A. _____

□(3) ある仕事をするのに、A 君は 40 分、B 君は 60 分かかります。この仕事を A 君が 30 分仕事をしたあと、B 君が仕事をするに、合計で分かかります。

A. _____

□(4) ある仕事をするのに、A 君 1 人ですると 10 日かかり、A 君と B 君の 2 人ですると 6 日かかります。B 君 1 人ですると、この仕事を日で終わらせることができます。

A. _____

□(5) ある仕事を終わらせるのに、A さん 1 人では 4 時間かかり、B さん 1 人では 6 時間かかります。この仕事を A さんと B さんが 2 人で行うと時間分かかります。

A. _____

□(6) ある仕事を仕上げるのに、ジロウ君 1 人では 30 時間、カンタロウ君 1 人では 45 時間かかります。この仕事をジロウ君とカンタロウ君が 2 人ですると時間で仕上がります。

A. _____

□(7) A 君が 1 人で行うと 12 日間かかり、B 君が 1 人で行うと 18 日間かかる仕事があります。この仕事を A、B の 2 人で同時に始めると、仕事を始めてから終わるまでに日間かかります。

A. _____

● つるかめ・弁償算 ●

□(1) 1個 80 円のアメと 1個 50 円のガムを合わせて 20 個買ったところ、代金の合計が 1360 円になりました。このとき買ったアメは□個です。

A. _____

□(2) 50 円切手□枚と 80 円切手を合わせて 30 枚買い 2040 円はらいました。

A. _____

□(3) 100 円の箱に 1個 200 円のケーキと 1個 150 円のシュークリームを合計 7 個つめてもらおうと、合計 1300 円でした。ケーキは□個買いました。

A. _____

□(4) 1本 60 円の鉛筆と 1本 100 円のボールペンを合わせて 15 本買うと、ちょうど 1180 円でした。鉛筆は、□本買ったことになります。

A. _____

□(5) 50 円玉と 500 円玉が合わせて 17 枚あります。合計金額が 4900 円するとき、50 円玉は□枚あります。

A. _____

□(6) 260 円のケーキと 380 円のケーキを合わせて 18 個買い、110 円の箱に入れたら 5630 円になりました。260 円のケーキは□個買いました。

A. _____

□(7) 1本 70 円の鉛筆と 1本 110 円のサインペンを合わせて 22 本買い、5000 円を出したら、おつりが 3180 円でした。このとき、鉛筆は□本買いました。

A. _____

□(8) 1個 150 円のりんごと 1個 80 円のみかんをあわせて 20 個買って 2500 円支払ったところ、おつりが 270 円でした。りんごは□個買いました。

A. _____

□(9) 600 個のグラスを運ぶと、1 個につき 7 円もらえます。ただし、運ぶ途中でこわすと、その分をもらえないばかりでなく、さらに 1 個につき 10 円払わなくてはなりません。3945 円もらったとすると、運ぶ途中でこわしたグラスは□個です。

A. _____

● 消去算 ●

□(1) ある果物屋では、ミカンはリンゴに比べて 50 円安く、ナシはミカンに比べて 80 円高いです。そこで、ミカン 4 個、リンゴ 4 個、ナシ 2 個を買うと 960 円でした。このとき、ミカン 1 個の値段は 円です。

A. _____

□(2) ある遊園地に入場するのに、おとな 4 人と子ども 5 人で 3250 円、おとな 3 人と子ども 4 人で 2500 円かかります。子ども 1 人の入園料は 円です。ただし、消費税は考えないものとします。

A. _____

□(3) 2 つの宝石があります。ルビー 1 個の重さはダイヤモンド 3 個の重さより 12 g 軽いです。ルビー 5 個とダイヤモンド 3 個の合計の重さが 390 g のとき、ダイヤモンド 1 個の重さは g です。

A. _____

□(4) 消しゴム 1 個とえんぴつ 1 本の値段は合わせて 100 円、えんぴつ 1 本とボールペン 1 本の値段は合わせて 140 円、ボールペン 1 本と消しゴム 1 個の値段はあわせて 150 円です。えんぴつ 1 本の値段は 円です。

A. _____

□(5) チューリップ 3 本とユリ 4 本を買うと 1250 円になり、チューリップ 9 本とユリ 13 本を買うと 3950 円になります。ユリ 1 本は 円です。

A. _____

□(6) りんご 3 個とみかん 4 個を買うと 610 円、りんご 4 個とみかん 5 個を買うと 800 円です。りんご 1 個の値段は 円です。

A. _____

□(7) ノート 5 冊とえんぴつ 3 本の代金は 910 円、同じノート 7 冊とえんぴつ 3 本の代金は 1190 円です。このノート 1 冊の値段は 円です。

A. _____

□(8) 1 本の値段が 100 円、140 円、200 円の 3 種類のペンをあわせて 25 本買い、3380 円支払いました。140 円のペンの本数は、200 円のペンの本数の 3 倍でした。140 円のペンを 本買いました。

A. _____